

## 三島中特設合唱部が保育所訪問

12月15日、三島中特設合唱部の皆さんが、保育所を訪問しました。町では保育所・小学校・中学校が連携し、さまざまな取り組みを行っており、中学生の訪問は初めてとなりました。今回は、クリスマスソングを中心に約30分間の演奏で、保育所の子どもたちと一緒に歌ったり、遊んだり楽しいひと時を過ごしました。



# 「SL只見線紅葉号」 ヘッドマーク図案表彰式

1月

目次

- 2 「SL只見線紅葉号」  
ヘッドマーク図案表彰式
- 3 新春祝賀会並びに自治功勞表彰式
- 4 平成 28 年新年の挨拶
- 5 矢澤源成町長 / 小柴修一議長
- 6
- 7
- 8 TownNews みしまの出来事
- 9 三島保育所でもちつき体験 / 三島小  
6 年生が税金について学ぶ / 地区座  
談会開催される / 矢澤昇さんに福島  
県体育協会スポーツ功勞賞 / 「ふる  
さとの香り」特別町民へ発送！ / 飲  
酒運転根絶・火災防止を呼びかける  
/ 町の農業施策について農業委員会  
が建議書を提出 / 町教育委員に半澤  
美由紀さんが再任
- 10
- 11 31 年目「おばあちゃんの味」
- 12 町民記者通信
- 13 今冬のライトアップイベントは川  
井地区で / 西方班に消防積載車・  
名入班に消防軽積載車納車 / 健康  
維持と交流を図るため「高清水・  
小山地区健康を守る会」の輪投げ  
大会 / 西方地区委員会と交流会を  
開催！ / 新そば収穫祭開催 / 西方  
おだやか会が開催されました
- 14 みんなの公民館
- 15 三島保育所入所のご案内 / 三島町  
奨学生の募集
- 16 民話
- 17 新年のご挨拶宮下病院長浅野宏 /  
お知らせ
- 18 三島保育所クリスマス発表会 /  
町長日記



【表彰者】 最優秀賞：三島小学校6年 青 木 亜 怜 さん（西方）  
優 秀 賞：三島小学校2年 鈴 木 美乃里 さん（宮下）  
三島小学校3年 酒 井 大 駕 さん（宮下）  
三島中学校2年 青 木 亜 衣 さん（西方）  
三島中学校3年 長谷川 百合香 さん（宮下）



最優秀賞の小学校6年青木亜怜さん 「SL 只見線紅葉号」のヘッドマーク

10月31日から11月1日に運転された「SL 只見線紅葉号」のヘッドマーク表彰式が12月8日、町長室において行われました。

表彰式では矢澤町長より表彰者に対し激励の言葉をいただき、正野会津若松駅長が挨拶を述べられました。その後表彰者に賞状が手渡されました。最優秀賞に選ばれた小学校6年青木亜怜さんは10月31日会津若松駅で行われた「SL 只見線紅葉号」出発セレモニーで、1日駅長に委嘱され、出発合図等の業務を行いました。



福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



サイノカミ

# 自治功勞表彰



自治功勞表彰を受けた皆さん。(左から) 大竹正義さん、五十嵐文義さん、五十嵐馨さん、二瓶朋子さん

新春祝賀会並びに自治功勞表彰式は1月4日、町民センターで行われ、功勞のあった方々に、矢澤町長から表彰状と記念品が贈られました。

## ◆功勞表彰

### 【統計調査員20年】

二瓶朋子様(間方)  
目黒恒子様(滝谷)

### 【消防団員30年】

五十嵐馨様(大谷)  
小池守様(西方)

五十嵐文義様(高清水)  
大竹正義様(滝谷)

### 【多額の寄附】

工藤忠利様(東京都)

## ◆善行表彰

### 【多額の寄附】

小貫芳信様(東京都)



町民センターで行われた新春祝賀会並びに自治功勞表彰式

# 新年の挨拶

のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。

## 歴史に学ぶ「進取の気風」を今こそ 矢澤源成 町長



新年明けましておめでとうございます。平成28年の輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年の12月25日、10月の国勢調査の速報値が発表されました。ある程度予想はしておりましたが、他町村との比較において、これほどの人口減少率になるとは考えておりませんでした。平成22年の国勢調査と比較し、人口減少率が県下一で13.4%、減少数が258人であり、減少傾向が会津地方の町村、特に只見川流域の町村で顕著に見られました。これらの現実を突きつけられ、ある意味では異次元の後期基本計画や地方創生計画を樹立していかないと、地域や集落が本当に消滅するのではないかとという危機感を感じています。元岩手県知事が発表された、いわゆる増田レポートの特徴は、従来も「少子化対策」や「地方再生戦略」は重要な施策として特命大臣を設置して実施してきたことであります。しかし、今回のレポートの反響が大きかったのは、具体的に「消滅可能性都市」や「消滅する市町村」と自治体の名称を名指ししてきたことによると考えます。この反響は非常に大きく、地方では、現実追従論やあきらめ論が起きている町村もあるという話があるくらいです。三島町では、只見川流域町村の発電所建設の先陣を切り、宮下発電所が着手されました。地域住民と建設業者や日本発送電株式会社の連携のもと、完成までの苦難の過程や日本の復興の礎を築いた誇りを忘れる事はなく、今も地域住民の心の深層に閉じ込めながら、何事もなかったように静かな鼓動を刻みながら日々の山

## 新年明けましておめでとうございます。皆さま

村の生活を送っています。

いま農山村に熱い視線が注がれています。地方で生活したいという相談件数が増加傾向にあると新聞紙上で公表されております。政府は地方再生を成長戦略の重要な柱の1つと位置づけ、新たな動きが活発化しています。昨年の12月に開催した地区座談会の主要テーマが、後期基本計画や地方創生計画・防災対策でした。平成28年から5年間の三島町の町づくりの素案を町民の皆さんに提示したところです。今月中には各種団体の皆さんや、女性の方との座談会等を開催し、広範な町民の皆さんの意見を聴取し実行力のある施策を構築していきたいと考えています。農山村回帰の時代が来ています。この時代の流れを確実なものにするために、「地方創生」でなく「地域創生」という観点から「自分の足下の泉」を掘る事が重要であります。誘致企業の選択肢を否定はしませんが現状においてはなかなか困難であります。町の規模から考えると総合デパート的な産業でなく、小さな産業を創りながら雇用の場を創出する以外にないと思います。一方で、現在の雇用状況を考えて場合、地元の雇用人口が限られているという事も考えられます。空き家を活用したり、小規模団地を造成し積極的にイターナー等々の「起業」者を受け入れながら様々な制度の中で支援していく覚悟です。

また、雪国の生活文化を生かした町づくりのためには、過去から学ぶ事が必要であります。過疎豪雪地域の先達としての三島の町づくりの根幹は、ふるさと運動・生活工芸運動地区プ

ラウド運動・健康づくり運動そして有機農業運動等の五徳の町政を、再認識・再確認しその精神を今に生かすことであります。これらの運動は古くて新しい施策であります。三島のルネサンス運動であります。当時と時代背景は違いますが、現在の危機的な課題を解決できるヒントの大きな幹は五徳の具体的施策の推進にあると確信しております。5年間のスケジュールで、戦略的かつ計画的に次の事を実施していく予定であります。1点目は、若者定住対策や高齢者との共生社会のあるべき姿の課題は、戦略的組織改革に取り組んで職員一体となり、その方向性を見いだすための組織にしていける事を考えています。若者定住対策は、団地の造成や住宅建設等の狭義の視点でなく、保育所や学校、そして雇用の場等々の総合行政的である広義の視点が必要であり、そのためには戦略的な組織改革を行い、5年間の期間の中で、その成果を出していきたいと思えます。2点目は、美しい村づくり運動の展開です。町づくりの基本は地区の振興にあります。地区の自発的な事業に出来るだけの支援をしていきます。また、山村文化の保存・継承・活用や空き家の積極的活用を支援していきます。桐の里三島の景観を考えながら再生産業の育成を図っていきます。3点目は、安全・安心な町づくりのため、災害に強い地区づくりや克雪等の研究を展開していきます。また、地区公民館等の建設については、会議を開催する場所という視点ばかりでなく地域の福祉や災害時の避難場所という視点も入れながら「生活交流の場」としても考えていきます。4点目

は、五徳の町政のルネサンス運動を展開し、ふるさと運動を基本とした交流事業の拡大やふるさと納税制度を導入し、実施いたします。また、健康づくり運動を核としたライフステージに応じた健康づくりを展開して、生活習慣病の減少や寝たきりゼロ作戦を展開していきます。地区プラインド運動を地区振興の核として、地区の資源の発掘をはかり、限界集落への挑戦という事を考え、町全体の地域振興を図ります。有機農業運動を山村農業振興の切り札として、遊休農地の活用や、安全安心な食を通して健康づくり運動と結びつけ、循環型農業の確立、また美しい村の形成のため桐の里産業株式会社の一翼を担うような施策の誘導を図ってまいります。最後に、生活工芸運動の発展を地域経済発展の原動力として考え、生活工芸館を核とした桐や杉そして広葉樹、蔓等を含めて、里山整備を図りながら、山林資源の有効活用を図る手段としての生活工芸村構想の樹立を目指し、この運動の知名度を揺るぎないものにしていきます。いずれにしても地域の資源を有機的に連携させ推進していきたいと考えています。

最後になりますが、職員一同町民の心に寄り添う事を第一に、町民の皆様と一体となって「住んで良かった・住んでみたい」と思っていただけのような魅力的な町づくりを推進してまいります。より一層のお力添えをいただきますようお願いいたしますとともに、皆様のご多幸とご健康をお祈り申し上げ、年頭にあたつてのご挨拶といたします。

# 創意工夫し実行力を持ち 若者定住対策の実現へ！

## 小柴修一 議長



新年明けましておめでとうございます。雪のない穏やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平成28年新春祝賀会の開催にあたり町議会を代表してご挨拶を申し上げます。常日頃より皆様には、町議会に対しご支援ご協力いただきまして、衷心より感謝、御礼申し上げます。

また、自治功労表彰において、それぞれの分野で、長年にわたり自治振興にご精励され、その活躍が認められた皆様に、お祝いを申し上げます。今後とも町発展のために、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成27年を振り返りますと、町民の皆さまが安全・安心で暮らせる町づくりの生活基盤が年々進展されているところであります。全国各地では大きな自然災害が起きている中で、当町では大きな災害がなく安全・安心に暮らせた一年でした。

また、当町の懸案事業でありました、農業法人桐の里産業株式会社を町100%の出資で設立し、田の作付や野菜栽培等を実施してスタートいたしました。資金については、地方創生事業が前倒しで

予算措置されました。このように今、当町では雇用場が不足している状況であります。この農業法人桐の里産業株式会社を核として、当町の大きな雇用の場に育てていくことが大切だと思います。

また、昨年12月より地区座談会が開催され、三島町振興計画後期基本計画及び地方創生関連計画が示されました。

今後5年間の最重点施策は、若者が集い、高齢者がいきいきと安心して暮らせる町づくりを目指し、特に少子高齢化による人口減少社会への対応策として、若者定住対策を最重点施策に掲げると説明があり、今年3月までに提案することの事で、どのような計画が示されるか、楽しみでもあり、不安もあります。

また、昨年12月26日の福島民報に掲載された国勢調査速報値で当町が13.4%と県下一で最高の減少率であり、大変なショックを受けました。

また、その反面で今年度国の施策でありました、地域おこし協力隊の若い方々7名が全国各地より、当町を選んで活動されており、当

町も希望がもてる事だと思いました。今後も当町の情報発信をしつかりとしていかなければならないと感じています。現在の当町の情報発信力は弱いと思いますが、この様な現状の中で、若者定住対策を最重点施策に掲げた事業をどう推進するか実行力が問われる年でもあります。これらの問題解決の為に、行政ばかりでなく、議会・町民が一体となり知恵を出し合い、創意工夫して行わなければならない時期だと思います。

最後になりますが、課題解決に向け、一層のお力添えをいただきますようお願いいたしますとともに、当町の発展と皆様のご多幸とご健康をお祈り申し上げ、年頭にあたってのご挨拶といたします。



## 三島保育所でもちつき体験

三島保育所で12月16日、もちつき体験が行われました。子どもたちは一人ずつ、きねを持ってもちをつきました。出来上がったもちは、きな粉もちや、あんこもちにして、みんなでおいしく食べました。当町では「サイノカミ」などの伝統行事や祝い事で、もちを食べる昔からの風習があります。そのような文化の中で、神様と同じものを食べ、神様の力を分けていただき、子どもたちが健やかに成長することを願います。



重いきねを持って一生懸命もちをついた子どもたち

## 三島小6年生が税金について学ぶ



税金について学んだ6年生の児童

三島小6年生の租税教室が12月7日に行われ、町民課職員が税金について説明しました。みんなの安全・安心を守る消防や警察、ゴミ処理、道路や橋の建設など、生活に欠かせないものが税金で成り立っていることを学びました。みんなで社会を支えるための税金の意義とお金の大切さを児童たちは感じていたようです。

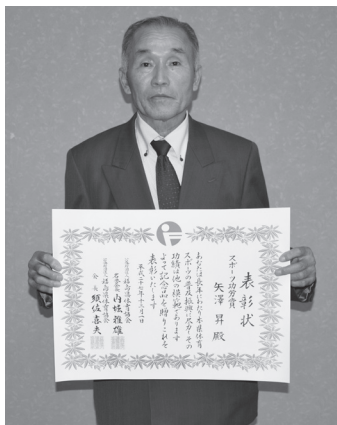
## 地区座談会開催される

地区座談会は12月8日から25日にかけて、矢澤町長が全15会場に出席して開かれました。今回は、三島町振興計画後期基本計画及び地方創生関連計画策定や防災対策、マイナンバーについて説明し、質疑と意見交換を行いました。出席した町民の方々からは、今回の説明事項に対する質問のほか、日ごろの行政に対する要望なども出されました。町では、それらの声に対して誠実に対応してまいります。



滝谷地区で行われた地区座談会の様子

## 矢澤昇さんに福島県体育協会スポーツ功労賞



福島県体育協会スポーツ功労賞を受賞した矢澤昇さん

12月1日、福島市ウエディングエルティにおいて、前体育協会会長の矢澤昇さん（高清水）が福島県体育協会スポーツ功労賞を受賞しました。矢澤さんは平成元年度から平成8年度の4期8年にわたり、三島町体育指導員としてスポーツ活動に携わり、町民の体力・健康づくりに尽力され、また、スキー指導員として、町子ども達や地域の方に対して、スキーの指導や滑る楽しさなどを教えてくださいました。平成15年度から三島町体育協会役員として、会長および副会長を6期12年にわたり務め、平成26年度から両沼地区体育協会連合会副会長に就任、長年にわたり町のスポーツ活動に貢献し、今回の受賞となりました。

## 「ふるさとの香り」特別町民へ発送！

「ふるさとの香り」が129世帯の特別町民へ、町観光協会が町の委託を受けて、12月24日に発送しました。昭和49年に当町が始めた「ふるさと運動」の一環として、毎年届けています。今回の詰め合わせには、恒例のもち、山菜加工品などのほか、奥会津温泉郷協議会発行の2016年奥会津歳時記カレンダーを入れました。カレンダーには星賢孝さん（金山町雨沼）が撮影した四季折々の写真が掲載されています。もちは西方地区の皆さんが毎年作っており、特別町民の皆さんのお正月の食卓に並ぶよう丁寧に詰められました。



「ふるさとの香り」が特別町民の方々に届けられました

## 飲酒運転根絶・火災防止を呼びかける

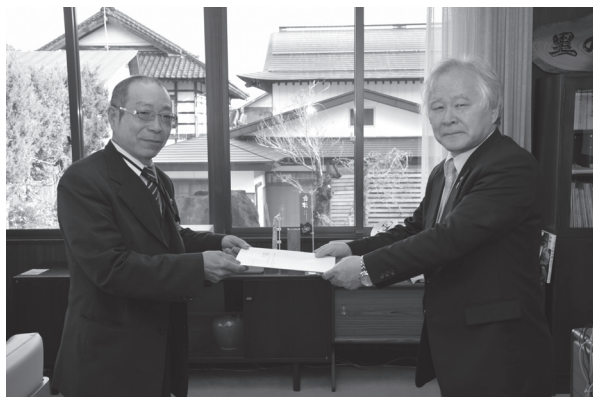


旅館・飲食店を訪問しチラシを配る

12月22日、交通安全協会三島分会、交通安全母の会、交通安全専門員、防犯指導隊、消防団合同により、町内の旅館や飲食店を訪問し、年末年始の交通事故防止訪問啓発と防火広報活動を行いました。飲酒運転はドライバーだけではなく、車の提供者や酒類の提供者、同乗者も罰せられます。車の持つ便利さは危険と隣り合わせです。ドライバーの方は常に注意を払い、ハンドルを握ってください。また、年末年始は火災の危険が特に大きくなることから、お休み前やお出かけ前には火の元の確認を行うようお願いします。

## 町の農業施策について 農業委員会が建議書を提出

町農業委員会の阿部通利会長と坂内仁会長職務代理者が12月22日、町の農業施策に関する建議書を矢澤町長に手渡しました。建議書には、①農業法人等の組織の支援②遊休農地解消対策③6次化の推進④鳥獣被害防止対策⑤国土調査の推進⑥原子力災害対策についての指針がまとめられました。町では、この建議内容を今後の農業施策に反映させるよう努めていきます。



矢澤町長へ建議書を提出する阿部通利会長

## 町教育委員に半澤美由紀さんが再任



矢澤町長から任命を受ける半澤美由紀さん

町教育委員の任命式が12月21日に行われ、半澤美由紀さん（名入）が再任されました。教育委員は議会の同意を受けて町長が任命するもので、教育長と4人の委員で教育委員会を組織し、地域の教育、文化、スポーツ等の振興などについて審議します。任期は平成31年9月30日までです。

# 31年目を迎えた「おばあちゃんの味」

～おばあちゃんから子どもたちへ～「みしまの大切な味を伝えたい」～

子どもたちに地域で受け継がれてきた家庭料理の味を伝える「おばあちゃんの味」が12月10日、町民センターで行われました。老人クラブ女性部の皆さん17名が先生となり、三島小5年生が「さつまいもご飯」、「ごこみの炒めもの」、「すいとん汁」など、外3品の料理を作りました。また、食事には小学校3・4年生も招待し、みんなで作った料理をおいしくいただきました。今回で31年目となるこの事業は、毎年6月に三島小6年生、12月に5年生が参加しています。

「おばあちゃんの味」のこだわりは材料です。お米は三島小5年生が宮下びおたんクラブの方々と田植えから稲刈りまで、一緒に作業をして作ったものです。

また、その季節に山や畑でとれる食材が、数多く使われています。今回の食材のほとんどは、おばあちゃん方が持ち寄ってくれました。この事業のために自慢の野菜を育ててくれたり、山菜やきのこを採ってきてくれたりする方も多く、この事業がおばあちゃんたちの生きがいになっているように思います。

今回の「おばあちゃんの味」のテーマは「おばあちゃんから子どもたちへ」「みしまの大切な味を伝えたい」でした。この事業をとおして、手作りの家庭料理や食事の大切さを知るきっかけになればと思います。

地域の味を子どもたちに知ってほしいという願いから、31年間続けられてきた「おばあちゃんの味」。今年もおばあちゃんと楽しく料理をする子どもたちの笑顔がありました。



みんなで記念撮影を行いました



## 「おばあちゃんの味」 献立

さつまいもご飯  
 こごみの炒めもの  
 ほうれん草のじゅうねん和え  
 かぶときゅうりの漬け物  
 せんばん炒り  
 すいとん汁





## 今冬のライトアップイベントは川井地区で

文・写真 町民記者 角田伊一さん（川井）



筑波大学の学生たちによる試作品の説明発表会の様子

小水力発電や自然エネルギーから取り出したわずかな電気を光源に、雪原や民家、土蔵にしつらえた光の芸術作品をライトアップする「森のはこ舟アートプロジェクト 2015」は来年2月11日から川井地区で行われます。このほど川井集会所で、筑波大学の逢坂卓郎特任教授ほかイベントを実施する学生たち、三島町ワーキンググループ、NPO 法人わくわく奥会津 COM、町教育委員会等関係機関の皆さんから、すでに現地調査を終え発表にむけた試作品の説明発表会が行われました。すでに10月頃から民俗行事をたくさん保存し、なおかつ田園風景や村の景観に優れた川井地区を丹念に歩き回った学生たちが、今回は4つのグループに分かれて、それぞれ掴み取った印象や思いから、雪の中に生き、春を待つ人々の思いや、たくましい生命力や自然の恵みなどを光のページェントで表現するアイディアの試作品を持ち寄り、集った人々に披露し、意見や感想などを語り合いました。学生たちは住民からの参考意見を踏まえ、さらに磨きをかけるとのことで、地区の特性をどのように引き出してもらえるのか今から楽しみです。



## 西方班に消防積載車・名入班に消防軽積載車納車

文・写真 町民記者 小島 純さん（宮下）

三島町消防団西方班と名入班の消防車が老朽化により、新しい消防車に更新されました。12月24日に納車され、同班の団員約20人が参加し、新しい機械器具の点検や操作方法などを学びました。地区内の夜警や火防督励、訓練など、様々な分野での活動が期待されます。また、町民の皆さんには、ストーブなど火を使う機会が多い季節ですので火の取扱いに十分ご注意ください。



説明を受ける消防団員



## 健康維持と交流を図るため 「高清水・小山地区健康を守る会」の輪投げ大会

文・写真 町民記者 菅家敏一さん（高清水）



輪投げをとおして楽しいひと時を過ごしました

12月20日、老人会と共催による輪投げ大会が開催され、多くの方々が輪投げを楽しみました。家にいるばかりではなく、交流の場に出かけることで楽しいひと時を過ごしていました。お互い元気をもらえることも健康の源のようです。厳しい冬の季節に入りましたが、風邪などに気を付けて、お互い元気で新年を迎えられますよう祈願し次回を楽しみにして散会しました。  
がんばろう がんばりましょう 元気が何より



## 西方地区委員会と交流会を開催！

文・写真 町民記者 本名与四郎さん（西方）



区長日報を説明する二瓶辰雄さん（写真・左中）

12月15日、午後6時より生涯学習センターカタクリにおいて「第10回地区委員会」が行われました。はじめに、区長挨拶並びに区長日報による経過報告の後、各部からの協議事項を行いました。まず、土木部から除雪計画の訂正項目や地区内見回りによる街路灯点検を行い、修繕や電球交換が必要な場所についての活動報告がありました。つづいて、社会部より平成28年地区新年会の実施計画案について説明がありました。主な内容として、新年会前日までの準備や前日の準備関係、新年会の式次第の順序や役割分担など細部にわたって協議、検討を行いました。また、会計より地区新年会開催のために必要な食材購入準備についても社会部と協力しながら推進していくことを確認しました。その他の協議として、第2回西方規約素案検討委員会の日取りや地区座談会開催の確認がありました。その後、今年1年の各活動を振り返ったり、来年の活動計画を話し合ったりしながらの交流会が行われました。



## 新そば収穫祭開催

文・写真 町民記者 小島 純さん（宮下）

「みやしたそばの会」では、地区内の遊休農地を借り受け、県オリジナル品種の「あいづのかおり」を栽培し、荒れた農地を「そばの白い花畑」にかえ、美化運動と地域の活性化に取り組んでいます。今秋収穫した新そばを使い12月6日、宮下活性化センターにおいて収穫祭を行いました。そばの種まきやそば刈り、脱穀までの期間、サポートしてくれた皆さんは、打ちたての新そばで、自ら栽培したそばを堪能されました。



宮下活性化センターで行われた収穫祭



## 西方おだやか会が開催されました

文・写真 町民記者 本名与四郎さん（西方）



会の皆さんで穏やかに交流を図りました

12月12日、午後6時より栄光館において「西方おだやか会」が行われました。あまり聞き慣れない方もいるかも知れませんが、通年開催されているということでした。当会の代表幹事は栗城隆雄さん、幹事は小柴一郎さん、小柴直哉さん、庶務が佐藤幸志さんで構成されていました。今回は有志も含めて11名が参加して、今後の西方地区で生きてゆく「すべ」を一人一人自分の思いを語り合いました。その後、忘年会を掛詞（かけことば）風にもじって、来年のことを希望や夢のある年となるよう願いを込めて「望年会」を楽しく、仲良く、穏やかに行われました。

# みんなの公民館

●三島町公民館  
☎(48) 5599

## ◎県立博物館で荒屋敷遺跡ポイント展実施中

当町で発掘された荒屋敷遺跡の出土品は、県指定重要文化財に登録されており、県立博物館（会津若松市）の収蔵庫に保管されています。普段は目にすることはできませんが、現在、常設展内で出土品の一部を公開するポイント展を実施してい



県立博物館（会津若松市）の常設展内で実施されている荒屋敷遺跡ポイント展

町では、全国的にも貴重だと評価される荒屋敷遺跡の活用を図るため、文化財専門委員や県立博物館の協力を得て、出土品の再整理を行っています。

ます。今から二千数百年前、縄文時代晩期の遺跡から出土した漆塗りの土器や木製品、編み組製品など、出土例が少ない植物素材製品を中心に展示しています。この機会にぜひ足をお運びください。

展示期間は平成28年3月13日まで。観覧には常設展料金がかかります。



積雪がない状況で行われたスキー場開き

## ◎積雪ゼロのスキー場開きでイベント実施

町営スキー場開きは12月23日、珍しく雪のない状況で行われました。地元桑原地区の方々、スポーツの児童たちなど20人ほどが参加しました。安全祈願、テープカットを行った後、スキーシーズンに向けた体力づくりを兼ねて、第1回スキー場マラソン大会を実施。児童や保護者が参加し、鈴木啓生くん（小5）が1位となりました。その後、

豚汁を振る舞いながら、スキー場利用上の注意事項や今後の運営などについて話し合いました。

## ◎小5児童がみしまテレビ編集を体験

三島小5年生の児童たちは12月16日、役場内のみしまテレビ編集室を見学しました。実際に撮影した自分たちの映像に、名前などのテロップを入れる編集を体験。児童からは「みしまテレビで働いてみたい」との声も聞かれました。



テレビ編集を体験する児童



町民センター図書コーナー ゆめぼけっと

● Book Review

●利用時間 月～土 9:00～21:00 日・祝 9:00～17:00 ●お休み 年末年始



**超一流の雑談力**  
安田正 著  
文響社

一流の雑談は、人もお金も引き寄せる。雑談には、人生を変える力がある。意味のない無駄話から、人に好かれる話術へ。実践的なテクニックを紹介する。



**置かれた場所で咲きなさい**  
渡辺和子 著  
幻冬舎

現実が変わらないなら、心の持ちようを変えてみる。いい出会いをするためには、自分が苦勞して出会いを育てなければならぬ。



**嫌われる勇気**  
岸見一郎 著  
古賀史健 著  
ダイヤモンド社

なぜ、いつまでも変われないのか。なぜ、劣等感を克服できないのか。なぜ、幸せを実感できないのか。対人関係、人生に悩むすべての人へ。

# 三島保育所

## 入所のご案内

平成28年度の入所申し込みを受け付けます。

### ●保育の実施基準

- 児童の保護者が次の①～⑪のいずれかに該当し、児童を保育することができないと認められる場合で、かつ同居の親族等が当該児童を保育することができないと認められる場合に行うものとします。
- ① 居宅外で労働することを常態としていること。
  - ② 居宅内で当該児童と離れて日常の家事以外の労働をすることを常態としてしていること。
  - ③ 妊娠中または出産後間がないこと。
  - ④ 疾病にかかり若しくは負傷し、または精神若しくは体に障がい有していること。
  - ⑤ 長期にわたり疾病の状態

にあるか、または精神若しくは体に障がい有する同居の親族を常時介護していること。

⑥ 震災、風水害、火災その他の災害の復旧に当たっていること。

⑦ 求職活動（起業の準備を含む）を断続的に行っていること。

⑧ 就学していること。

⑨ 虐待または配偶者からのDV（家庭内暴力）のおそれがあること。

⑩ 育児休業取得時に、既に保育を利用している子どもがいて継続利用が必要であること。

⑪ 町長が認める前各号に類する状態にあること。

### ●対象者

三島町に住所を有する小

学校入学前の乳幼児

※平成28年度の途中入所を予定されている方もお申し込みください。

### ●保育所開所時間（月～土）

午前7時30分から  
午後6時30分まで

※土曜日も、事前にお申込みいただければ、午後6時30分まで利用できます。

### ●保育料

保育料は保護者の町民税額を基準として決定します。

### ●提出書類

① 保育給付支給確認書

② 保育所入所申込書

③ 就労証明書等

（用紙は教育委員会事務局で配布しています）

### ●入所申込締切

1月29日（金）

### 【申し込み・お問い合わせ】

三島保育所

☎（48）5501

教育委員会

☎（48）5599

## 平成28年度

## 三島町奨学生募集

町では、高等学校、大学、高等専門学校、専門学校等の学生を対象に、三島町奨学生を募集します。希望される方は期日までに  
出願手続きをお願いします。

### ●貸与資格

- ① 学生または保護者が引き続き1年以上三島町に住所を有する者
- ② 品行が正しく、学術に優れ、健康である者
- ③ 経済的理由により就学困難と認められる者

### ●奨学資金の額（月額）

大学生 3万円以内  
その他 2万円以内  
いずれも無利子です。

### ●貸与期間

進学する学校の正規の修業期間

### ●償還期間

就職6カ月後から月賦で6年以内での償還となります。

### ●出願手続き

奨学生願書、奨学生推薦調書を、平成28年2月22日までに役場総務課へ提出してください。  
（用紙は同課で配布しています）

### 【出願・お問い合わせ】

役場 総務課  
☎（48）5511

# 民話



## 第58話 雪姫

元話 故 五十嵐 ミヨノさん（西方）  
再話 五十嵐 七 重さん（西方）

ざっと昔が あったとお

あるごに じい様どばあ様どやったとお。子ども持つてながったがらなあ。

「じい様よ こめら居ねえつうのは さみしな」

「んだなあ」 ばあ様よ、夕んべな雪降ったがら、雪だるまでもこしやあが」

「なあやれ 女んこの雪だるまにしんべ」 つうど二人んじえこしやったど

めんこい めんこい 女んこできたど。かんざしもつけだつど

「なあで ばあ様。この子 本当の子どもだったら にぎやがになるな」

「本当やれ なんぼうよがあべなあ」 つつてだら

「じいちゃん！ばあちゃん！」その雪だるまがしゃべったど

「ありや」これは夢んねえがあ？」

「しゃべられんのがあ？ 人間になったのがあ？」 ったら

「あい！わたしは雪子！じいちゃんとばあちゃんの子どもになんの！めど

がつてなあ」 つつただど

「あらちらら」夢んねえ 雪だるまが雪子になった」

「えへへ」じいちゃん！ばあちゃん！手つこ！

「おー よしよし。あいべ あいべ」

「家さいつていっしょにマンマ食うべな」手つこつないで家さ入ったとお

それがらつうものじい様どばあ様は、うれしくてうれしくて雪子を大事に

育てでいだど。言うことは良くきぐし手伝いもしてくれる。夕飯の汁のみ切り

なのもやつてくれんだど。

したが風呂さわ入っちゃがんねがったど。じい様もばあ様も、雪子のこと

わがってつから、よごつちゃ手足もふいでくつちえだど。

ほんににぎやがで楽しくて幸せだつけどお

そのうち春先になつておてんと様あつたがぐなつてきたど

「雪ちゃーんあそんべえ」 友達さそいにきたど

「雪子やれ あそんで来い。せつかぐさそつてくれるわ」

雪子が雪だるまだったごどもわすつちえ

「なあーほおれ、行つて来い。なんだあそんなすげねえ顔して」なんて言うど、

元氣のない雪子の手引いで

「ほらほら行つてあそんで来い」外さ出してやったとお

雪子は友達ど雪の消えだどごでてんまりついだり、石けりなんぞしてだつて

いつの間にか

「あれ？雪ちゃん いねえなあ」

「どごさ行つたべえ？」

「おーい 雪ちゃーん 雪ちゃーん」なんぼう さがしても雪姫はいながつ

ただとお。ぽかぽか あつたがーい春のおてんと様に、とけつちまつた……

んだ んだ……じい様もばあ様も、ぽかーんとしていだつたど。

ざっとむかしがさかえました

## 《手まり唄》

故 小 松 トヲヨさん（西方）

おぼこ おぼこは よいおぼこ

となりのおぼこも よいおぼこ

もめんがつばで 茶のこそで

野にも山にも ねてみたが

松葉にさされて 目がさめた

ここはどこよと 思たれば

かみがたかいどうの森の下

森からつづいて しなのまち

しなのまちから 何もうた

でんでんたいこに しょうのふえ



## 新年のご挨拶

宮下病院長 浅野 宏

新年の初めにあたり、ご挨拶を申し上げます。

昨年中は宮下病院等後援会をはじめ、地域の皆様より賜りました御厚情と御支援に対しまして、職員一同より御礼申し上げます。昨年は3月末をもって黒沢院長が退職されましたが、4月からは内科医1名と、院長として外科の医師が補充され、常勤医が5名の体制となり、診療所への応援や介護施設での診察は前年と同様に実施することができ、外科外来も再開されました。また、会津医療センターや県立矢吹病院から診療応援をいただき、整形外科、耳鼻いんこう科、皮膚科、心身医療・もの忘れ外来、循環器内科等の診療も引き続き行っております。さて、以前より計画しておりました耐震改修工事を昨年11月より開始しております。3月末に完成の予定で、診療はその間も続けていきますが、何かと御不便、御迷惑をおかけすることをご容赦下さいますようお願いいたします。宮下病院は「心ある医療」の理念のもと、皆様のご要望に応えられるよう努めてまいりますので、どうぞ今年もよろしくお願いいたします。今年が、皆様にとってよい1年になりますように。

## 県立宮下病院看護師募集のお知らせ

へき地医療の拠点として地域の皆様に必要な医療を提供している「県立宮下病院」では、平成28年4月1日付け採用の看護師を募集しています。公務員として、公共の医療施設で働きたい、患者一人ひとりと向き合った看護がしたい方にピッタリの職場です。試験日程等は次のとおりです。

◇受験資格：昭和51年4月2日以降生まれで、

看護師免許を有するか取得見込みの方

◇試験月日：平成28年1月23日㊥

◇応募締切：平成28年1月18日㊦ ※応募書類必着

◇募集人員：若干名

◇試験会場：アピオスペース（会津若松市）

◇合格発表：平成28年2月8日㊧

※試験の受験案内は、お電話いただければ郵送いたします。

＜お問い合わせ＞

福島県病院局 病院経営課

電話 024-521-7226（直通）

福島県立宮下病院

電話 0241-52-2321（代表）

## ご寄附

ありがとうございました

### 町への寄附（ふるさと納税）

丹野光明様（東京都世田谷区）

飯塚孝様（郡山市）

馬場法孝様（会津若松市）

### 町社会福祉協議会への寄附

ご遺志によるもの

秦虎雄様（大石田）

## 地域ふれあいサロン

### 【サロンないり】

日時 1月13日㊮ 午前10時から

場所 名入集会所

### 【浅岐あったかサロン】

日時 1月19日㊮ 午前10時から

場所 浅岐集会所

㊮町社会福祉協議会 ☎（52）3344

## 町の人口と世帯

12月1日現在

|    |       |    |    |   |
|----|-------|----|----|---|
| 人口 | 1,766 | -9 | 出生 | 2 |
| 男  | 856   | -2 | 死亡 | 6 |
| 女  | 910   | -7 | 転入 | 1 |
| 世帯 | 789   | -6 | 転出 | 6 |

㊮住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

## 1月の納税

納期限 2月1日

▶町県民税（普通徴収） 第4期

▶後期高齢者保険料（普通徴収） 第6期

忘れずに納付ください。  
役場 町民課

# 三島保育所クリスマス発表会



きりん組による白虎隊の演舞



子どもたちがかわいらしい踊りや劇を演じました



岩沢麻実さんによるミニコンサート

12月5日、三島保育所でクリスマス発表会が行われ、我が子の活躍を一目見ようとたくさんのご家族の皆さんが集まりました。子どもたちのかわいらしい踊りや劇を演じた子どもたちに、会場からはたくさんの拍手と声援が送られました。発表会後には、フルート演奏者の岩沢麻実さんによるミニコンサートが行われ、会場を魅了しました。最後にサンタクロースが登場し、子どもたちにプレゼントが贈られました。

## 町長日記（不易流行） No. 6

12月の議会定例や地区座談会も終了し、どこかほっとしている反面、議員の皆さんとの議論、また町民の皆さんとの直接対話等を通してお約束をした様々な事を考える時、責任の重さを痛感しております。

三坂山登山を考えると、比較的距離の短いならかな美坂高原口を選択する人、距離は長い美しい風景を感じながら滝原口を選択する人、登山の醍醐味を味わいたく最も険しい高清水口を選択する人、これら選択はその人の人生観に裏打ちされた結果の選択であると考えます。

しかし、選択した方法論は違いますが、三坂山頂上に行く目的は同じであります。私は、その方法論を大事にして町政の執行にあたっております。

行政や議会は勿論ですが、各種団体そして町民の皆様も、三島に住む「個」や「公」の幸せの追求のために生活しています。しかし、目的達成までの方法や過程が違って当然であり、その違いが互いに理解してこそ、調和のとれたメロディーを奏でる重層で柔軟な山村が構築できるものと信じています。そのような文化の蓄積を大切にするのが、交流人口が増加し定住人口への流れを作ることになると考えます。

人は様々な困難や課題に直面し、自分自身で考え行動し、解決を図る努力をする事（＝自助）が大切であり、また、豊かな地域づくりのためには、向こう三軒両隣のな、ともに支え合い助け合う地域社会を創って行く事（＝共助）も必要であります。個人や地域で解決が出来ない課題は、役場等が各種サービスを通じた課題解決（＝公助）を図ってまいりたいと考えています。相互に役割分担をしながらチーム三島をみんなで育てていきたいと思っています。この広報がお手元に届く頃は、申年です。2016年も元氣な年としたいものです。

三島町長 矢澤 源成